

[行事コード592503]



「グリーングレーハイブリッドインフラの現状と将来展望」に関する講習会のお知らせ

自然が有する多様な機能をインフラ整備に活用するという新しい取組みが注目され、グリーンインフラの社会実装が期待されています。わが国においても、国土交通省によるグリーンインフラ推進戦略の公表や官民連携プラットフォームの設置など、精力的に検討が進められています。このような流れの中で、グリーンインフラとグレーインフラを協働させることで、相乗効果が期待されるグリーングレーハイブリッドインフラも注目され、その概念も幾つか示されていますが、その具現化は十分に進んでいません。そこで、土木学会複合構造委員会では、グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（委員長：瀧本和志 HRC研究所）を設置し、これまで接点のなかったグリーンとグレーの技術者・研究者が協働し、横断的にグリーングレーハイブリッドインフラのコンセプトとその評価法について議論を行ってきました。このたび、その成果として「グリーングレーハイブリッドインフラの現状と将来展望」を出版することとなりました。本報告書は、グリーングレーハイブリッドインフラを実装する上での基本理念やその技術背景、また、意思決定の観点からのグリーンインフラまたはハイブリッドインフラのケーススタディ分析の結果などを収録しています。

本報告書の出版に合わせて、二部構成の講習会を下記のとおり開催いたします。第一部では、本研究小委員会の報告書に関する講習会を、第二部では本分野における著名な研究者による3件の基調講演に加え、グリーングレーハイブリッドインフラを実装する上での課題や展望に関するパネルディスカッションを行います。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 主 催： 土木学会（担当：複合構造委員会 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会）
- 日 時： 2025年10月31日（金） 13:00～17:30
- 会 場： 土木学会講堂／オンライン（ZOOM）
- 定 員： 会場参加70名／オンライン視聴500名（申込先着順）
- 参加費： 無料

※講習会に参加される方は事前に書籍「グリーングレーハイブリッドインフラの現状と将来展望」を購入願います。ご購入は、土木学会ホームページ刊行物販売ページからご注文いただけます（準備中）。

書籍ご購入の上、ご参加いただくことをお勧めします。

書籍をご注文頂いてから発送までには7日前後がかかります。

○ 申込方法：

- 土木学会ホームページ（<https://www.jsce.or.jp/events>）よりお申し込みください。

[オンライン] <https://www.jsce.or.jp/events/form/592503>

[会場] <https://www.jsce.or.jp/events/form/5925031>

※申込締切日10月24日（金）17時迄 締切り後の受付は行いません。

（申込後の参加区分変更は出来かねますのでご注意ください）

○ その他：

- オンライン参加用へのZoomのアクセスURL等の案内メールは、開催日の前日までに参加申込時の記入メールアドレス宛に連絡します。

○ プログラム：

※プログラムは変更になる場合があるので、最新情報はこのページでご確認下さい。

時間	内容	担当（敬称略）
13:00 ～ 13:10	開会挨拶	複合構造委員会 委員長 大阪工業大学 大山 理
第一部：研究小委員会 報告会		
13:10 ～ 13:25	委員会の背景・目的（I 編）	瀧本和志
13:25 ～ 13:40	ハイブリッドインフラのコンセプト ～展望（I 編）	川端雄一郎
13:40 ～ 14:05	基本理念とその技術背景 （II 編～III 編）	松橋宏治
14:05 ～ 14:30	ケーススタディ（IV 編）	越川義功

14:30 ～ 14:40	休憩
---------------	----

第二部：グリーングレーハイブリッドインフラの現状と将来展望 に関するパネルディスカッション		
14:40 ～ 14:50	パネルディスカッションの趣旨	瀧本和志
14:50 ～ 15:00	官民連携プラットフォーム，学会 間連携について	西田貴明
15:00 ～ 15:25	基調講演①	国立環境研究所 西廣 淳 様
15:25 ～ 15:50	基調講演②	筑波大学 村上 暁信 先生
15:50 ～ 16:15	基調講演③	慶応義塾大学 大沼 あゆみ 先生
16:15 ～ 16:25	休憩	
16:25 ～ 17:25	パネルディスカッション	パネリスト+ファシリテータ
17:25 ～ 17:30	閉会挨拶	複合構造委員会 副委員長 京都大学 北根 安雄

- CPD単位について
土木学会認定 CPDプログラム：4.0単位（JSCE25-0795）
- 各CPD システム利用者への対応について
[会場参加者]
 - CPD 受講証明書をご希望の方は必要事項を予め記入した申請書をセッション終了後受付にご持参ください。受講印を押印いたします。
 - 申請書類は https://www.cpd-ccesa.org/unit_assent.php からダウンロードして下さい。
 - 現地での受講証明書配布はございません。
 - 学会ホームページ（<http://committees.jsce.or.jp/opcet/cpd/user>）からの登録も可能です。
 - 土木学会CPDシステム利用者様：参加者ご自身によるCPDシステムへの「自己登録」をお願い致します。
[オンライン参加者]
 - CPD 受講証明は、事前参加登録者のうち、100 文字以上のアンケートを提出していただき、受講していたことが確認できた方に発行いたします。行事終了後下記URLよりアンケートをご回答ください。
<https://forms.gle/zuwdPVLrfWP8GgDV7>
 - 受講証明書アンケート回答期限：**11月2日(日)17時迄**、回答期限以降の回答は受け付けません。
 - 受講証明書は事務局側で記入したものを、回答期限日から2週間前後でメールにてお送りします。
 - 回答後コピーをご登録のメールアドレスに送信いたします。届いていない場合は、回答の受付が出来ていない可能性もありますのでご注意ください。
 - ※参加番号は参加申込時にevent@jsce.or.jpのアドレスより自動送信される参加券メールに記載されております。
- 各 CPD システム利用者への対応について
 - 土木学会 CPD システム利用者様：今回は、参加者ご自身による CPD システムへの「自己登録」をお願い致します。
 - 建設系 CPD 協議会加盟団体 CPD システム利用者様：各団体のルールに沿って、CPD 単位の申請をお願い致します。
※土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。
土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められないことがあります。土木学会では他団体の運営する CPD 制度に関しては回答いたしかねます。
- 問合せ先：（公社）土木学会 研究事業課 複合構造委員会 担当事務局宛
Email: okazaki★jsce.or.jp（★を@に変えてください）